

# Traders Market Report

トレーダーズ・アイ



毎週月曜日(祝祭日除く)発行

平成20年2月4日

【週刊】証券レポート

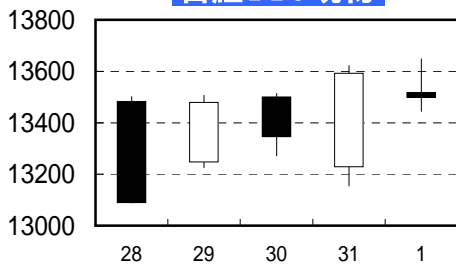
金融商品取引業登録番号 関東財務局長(金商)第123号  
〒106-6029東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー29階  
トレーダーズ証券株式会社 マーケティング企画部 発行

## Market Review for last week

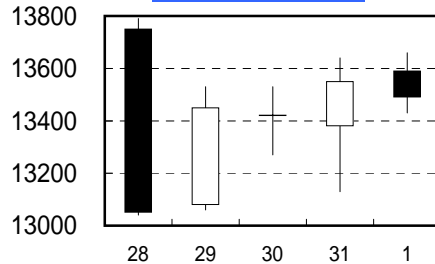
2008/1/28 ~ 2008/2/1

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	CHANGE
日経平均(現物)	13482.84	13648.39	13087.91	13497.16	-132.00
日経225先物	13,750	13,790	13,040	13,490	-170
ドル円	106.75	107.46	105.71	106.50	-0.24

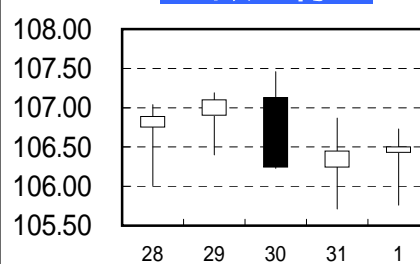
日経225現物



日経225先物



ドル/円



## 今週の見通し

トレーダーズ投資顧問株式会社

### 【先週の株式市場】

先週の東京株式市場は上下に大きく振れながらも結局小幅安の動きとなりました。月曜日、米国市場反落を受けて東京市場も下げて始まりましたが、全く反発する気配もなく終日下げ続け、前週金曜の500円高をそっくり吐き出して541円安となりました。火曜日、米国市場反発を受けて上昇して始まり、前引けにかけてやや弱含む局面もあったものの切り返して390円高となりました。水曜日、米国株式は翌日のFOMCにおける利下げ期待もあって小幅続伸しましたが、東京市場は方向感に欠ける状況で133円の反落となりました。木曜日、注目のFOMCにおいて0.5%の利下げが実施され一時は200ドル近く上昇した米国株式市場でしたが、モノラインと呼ばれる金融保証会社の格下げ懸念が浮上するとマイナスに転じ小幅安となってしまいました。これを受けた東京市場も下落して始まりましたが、売り一巡後は自動車などの国際優良株に買い戻しが入り、247円高と反発して引けました。金曜日、米国市場は大きく上昇したものの東京市場は前日に大きく上げていたことであってもみあいとなり、引けは95円安の13497円でした。結局週間ベースの日経平均は0.97%の下落となりました。

### 主要マーケットの動き

	先週終値	週間リターン
日経225	13497.16	-0.97%
TOPIX	1336.86	-0.59%
NYダウ	12743.19	4.39%
ナスダック	2413.36	3.75%
ドル円	106.42	-1.12%

(Source: Bloomberg)

注) ドル円終値は東京市場金曜日の午後4時前後の終値を使用

### 【今週の展開】

米国FRBの積極的な金融緩和によって金融市場は何とか支えられていますが、一方でサブプライム関連の悪いニュースは引きも切らず、直近ではいよいよモノラインと呼ばれる金融保証会社の信用問題が大きな焦点となってきました。また、マクロ経済指標も悪化傾向が続いており、なかなか株式市場にとっての好材料を見出すのが難しい状況が続いています。日本においても12月の鉱工業生産は比較的堅調だったものの、1月から2月にかけての生産予測指数が2ヶ月連続のマイナスになるなど米国の景気減速がじわりと波及する兆しも見えてきました。企業業績についても為替の円高傾向から利益が下振れる企業も散見されており、来期業績の見通しも不透明になっています。株式市場は日米ともに値動きの激しい展開が続いており方向感に欠ける状況ですが、FOMCにおける利下げやブッシュ政権の経済対策など大きなイベントは終了しました。

### 今週の主要イベント

日本	米国
2月6日 景気先行指数	2月5日 製造業受注
2月8日 機械受注	2月6日 ISM非製造業景況指数
景気ウォッチャー調査	2月8日 中古住宅成約件数

注) 米国経済指標の日付は日本時間

従って市場の注目は再び企業業績発表や、悪化傾向にあるマクロ経済指標に移ってくと見込まれます。未だ確たる解決策が打ち出されていないモノライン問題も、格下げの危機が迫っており予断を許しません。今週もこれらの材料の出方によって大きくマーケットが上下する展開となりそうです。

## 今週の予想レンジ

2008/2/4 ~ 2008/2/8

日経平均先物	13,500	13,700	13,900	14,100	14,300	14,500	14,700	14,900

当レポートの著作権はトレーダーズ証券に属し、許可無く複製等を行うことは出来ません。情報に関しては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。万一この情報に基づき被った損害について、トレーダーズ証券は責任を負いかねます。また、掲載されている事項は、トレーダーズ証券のご案内のほか、外国為替・株式等の投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、金融先物取引は価格又は